

News

ニュース
consumer/arcade/amusement/etc.

うー、アツイっすねえ、毎日。でも今日は夏に負けないくらいアツイニュースがめじる押しよってくるよーにな。とどろよ、マジで。

1 テクモ作品 続々映画化へ!

闘いのステージはスクリーンへ

おおお! 『DEAD OR ALIVE』が実写映画になるらしいぞ! このいいいいいい『DEAD OR ALIVE』がゲームを超えた魅力あるコンテンツとして世界に認められたってこと。めでたいにっしょ!

映画を製作する、米国「マインドファイアーエンターテインメント」(Mindfire Entertainment)社のC.O.O.(最高業務執行責任者)、マーク・アルトマン氏は「『DEAD OR ALIVE』はゲーム業界

世界が認めたコンテンツ! ハリウッド映画化!

において対戦型格闘ゲームジャンルを確立させるべく、非常に大きな役割を果たしてきました。今日の映画化によって世界中の『DEAD OR ALIVE』ファンが期待する映画製作を数々の手で成功させます! だっ! っー、自信満々。このいは期待せずにいられません! キャストも劇場公開もまだ未定だけど、続編がMindfire Entertainmentから入るので、期待して待つよーに!



その恐怖、世界に通す!

なんと! 『DEAD OR ALIVE』に引継ぎ『零-zero-』(北米名:『FATAL FRAME』)も映画化へ! しかも聞いて驚くくらい。制作はあのドリームワークス(DREAMWORKS FILMS LLC)! ドリームワークスっていうと、あーたそりゃもう『全米No.1』とか『動員記録更新』とか『スティーブンスピル』(ベグ)が作った会社とか、作る映画作る映画全部大ヒットってなくらいすごい会社。イヤでも期待が高まっちょいいます。

ドリームワークスのマーク・デルーカ氏の発言がコメントで聞いているので聞いてみよう。

「『我々は『FATAL FRAME』(『零-zero-』)の幻想的かつ創造的な映画に衝撃を受け、この比較的な恐怖のゲームを映画にし、露出度、お色気、ストーリーライン等をそのまま、すべての人に伝えるために映画にしたいのです。このプランはともなうエキサイティングであり、ドリームワークスにとっても、大ヒットの可能性を秘めた新しいプロジェクトでもあります。さすがのハリウッドも『零-zero-』の『恐怖の魅力』にはビビったわだね、えっへん。こちらもキャストも公開時間もまだ未定、続編に期待してっ!」

CONTENTS

08 news 04 DEAD OR ALIVE Xtreme Beach Volleyball 06 NINJA GAIDEN 08 アルゴスの巻
10 テクモゲームの未来 12 センター事件録 14 DEAD OR ALIVE 3 コラボ
ニュース 16 映画化の噂 17 夢の対戦格闘 18 音楽 20 テクモのエンターテインメント
21 忘れられないこと 22 CHATTER BOX 23 TPM 映画化 24 インフォメーション 27 ソフトウェアインタビュー

2 E3で電撃発表!

5タイトルも隠してたのか〜?

5月に開催された世界最大規模のゲームイベントE3のテクモブースで、北米で発表が決定しているソフト5タイトルが発売されたぞ!

中でも初顔面となった『DEAD OR ALIVE Xtreme Beach Volleyball』(D3x)、『NINJA GAIDEN』(D3x)、『RYGAR』(日本名:『アルゴスの戦士』)(PS2)の3本は、ひろくい会場の中でもひときわ注目を浴び、会場は歓声の波・波・波! しかも嬉しいことに3作とも日本の発売も決定! く〜っテクモめ、こんなビッグ



タイトルを隠しておくなんて! 各タイトルについて詳しくは4ページ以降で紹介しているから、こうなったらみんなTPMを読んどろ! **DEAD OR ALIVE Xtreme Beach Volleyball / D3x**
NINJA GAIDEN / D3x
RYGAR: THE LEGENDARY ADVENTURE / PS2
MONSTER RANCHER ADVANCE 2 / GBA
SUPER SHOT SUGGER / PS

3 コラボレーション 実施中!

みんな、今はやりの「コラボレーション」(コラボ)って知ってる? コラボレーションとは「共同作業」って意味。つまり、「テクモと他社が協力してより良い産品を創る」ってわけ。ふむふむ。気になるその創作とは…

テクモ × 産経新聞社

まずは大人気3Dジョッキーレーシング『ギャロップレーサー』シリーズ最新作、『ギャロップレーサー6』(仮

称)! コラボするのはサンケイスポーツと週刊ギャロップがおなじみの「株式会社産経新聞社」! 超情報源NO.1の産経新聞社と手を組むんだから、よりリアルで面白い『ギャロップレーサー』になること間違い無し! 期待度G級です!

テクモ × 平和

そして『デクモメーカー』最大手の「株式会社平和」とコラボしたのが『デクモ機』『ぼくがぼく機』。現在『デクモ機』で大好評稼働中のこの人気台をデクモが平和と共同開発(販売元は平和)したので、ゲームメーカーならではの遊びの要素が満載で他のデクモとはひと味違う面白さ!

4 おかげさまで 過去最高益!

おかげさまでテクモは2002年3月期の業績において、連結新株利益及び連結当業純利益にて、過去最高益を達成することができました。

翌週としましては家庭用ゲーム販売事業において、発売したXbox向け『DEAD OR ALIVE 3』、PS2向け『零-zero-』(北米名:『FATAL FRAME』)、

ゲームボーイアドバンス向け『モンスターファームアドバンス』(北米名:『MONSTER RANCHER ADVANCE』)などの販売が好調に推移したことがあげられます。特に日本発で発売されたXbox向けゲームソフト『DEAD OR ALIVE 3』が、ワールドワイドで100万本を超える大ヒットタイトルとなりました。

これはひとえにテクモ並びにテクモ作品をご愛顧下さっている皆様のおかげでございます。

今後も、エンターテインメントビジネスの研究開発に努めて参ります。皆様のご支援、ご愛顧を宜しくお願い致します。



その恐怖、世界共通! 日本と北米を恐れの渦に巻き込んだ『零-zero-』が、韓国とヨーロッパでも発売されることが決定! (ヨーロッパ名は『Project zero』) 発売はどちらも2002年8月の予定だ。映画化より一足先にゲームで世界を席捲するぞ。